

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
福山市	大橋団地 (西谷, 下東, 下西, 上南, 本谷, 吹上)	2023年(令和5年)3月28日	

1 対象地区の現状

①地区内の農地面積	30.64 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の農地面積の合計	16.72 ha
③地区内における70才以上の農業者の農地面積の合計	7.07 ha
i うち後継者未定の農業者の農地面積の合計	4.51 ha
ii うち後継者について不明の農業者の農地面積の合計	- ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある農地面積の合計	11.19 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

・アンケート回答から確認できた農地所有者の年齢分布をみると約52%が70歳以上となっており、高齢化が顕著である。
 ・将来経営面積を増やしたい意向があると答えた人はほぼおらず、アンケート回答戸数の約45%が減らしたい意向であり、耕作の維持が困難な状況にある。
 ・アンケート回答戸数の約70%が後継者のメドはついてないと回答し、所有者での長期的な農業経営が困難な状況であり、中心経営体への農地集積による営農が必須となっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

・地区内の農地集積については、中心経営体に位置付けられている認定農業者、認定新規就農者及び認定農業者を目指す経営体が担う。
 ・そのほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者、農業法人の受入れを促進する。

中心経営体の営農活動を地域として支援するために、共同作業については、地域(営農組合)も協力して行う。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (名前・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	いちじく, 野菜類	5.71 ha	いちじく, 野菜類	5.71 ha	西谷, 下東, 下西, 上南, 本谷, 吹上
認農	B	菊苗	3.25 ha	菊苗	3.25 ha	西谷, 下東, 下西, 上南, 本谷, 吹上
認農	C	野菜類	0.80 ha	野菜類	0.80 ha	西谷, 下東, 下西, 上南, 本谷, 吹上
認農	D	白ねぎ, キャベツ	0.53 ha	白ねぎ, キャベツ	1.00 ha	西谷, 下東, 下西, 上南, 本谷, 吹上
認農	E	野菜類	0.10 ha	野菜類	1.00 ha	西谷, 下東, 下西, 上南, 本谷, 吹上
認農	F	キャベツ	0.40 ha	野菜類	10.00 ha	西谷, 下東, 下西, 上南, 本谷, 吹上
認農	G	いちご	0.20 ha	いちご	0.20 ha	西谷, 下東, 下西, 上南, 本谷, 吹上
	H	野菜類	0.41 ha	野菜類	0.41 ha	西谷, 下東, 下西, 上南, 本谷, 吹上
認就	I	野菜類	0.28 ha	野菜類	0.50 ha	西谷, 下東, 下西, 上南, 本谷, 吹上
計	9 経営体		11.68 ha		22.87 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>農地中間管理機構の活用方針 アンケート結果から、将来他人に貸したいとの意向が確認された農地は、109筆・88,081㎡となっており、その農地において、借り手を探す方法では、農地中間管理機構の活用を希望する農地が約54%でとなっている。そのため、将来の中心経営体が経営農地の集約化を目指す中で、農地中間管理機構を積極的に活用していく。</p> <p>また、誰かに探してほしい、探し方が分からないと回答があった人については、農地利用最適化推進委員や農地中間管理機構への相談を促し、中心経営体へ集積を進めるなど、管理されていない耕作放棄地が増えないように営農組合して取り組む。</p>
<p>中心経営体の営農活動を営農組合として支援するために、排水路掃除等の営農環境の改善については、営農組合も協力して行う。</p>
<p>鳥獣被害防止対策の取組方針 鳥獣害(イノシシ)対策は、ワイヤーメッシュ等の対策を検討する。</p>
<p>中心経営体の経営内容は、それぞれ異なるが、いずれも団地内で重要な耕作を担っている。今後も担い手と営農組合の連携を図るとともに、営農組合で団地内の営農方針などの協議を重ね、大橋団地の永続的な耕作が実現できるよう努めていく。</p>